

第二十二回帝國議會 衆議院 屠場法案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治三十九年三月二十日午前十時二十六分開議

出席委員左ノ如シ

|        |        |         |
|--------|--------|---------|
| 川島 龍藏君 | 福井 三郎君 | 平島 松尾君  |
| 山口 小一君 | 石川 清君  | 柳田 藤吉君  |
| 辻 寛君   | 大畑 純次君 | 田寺 敬信君  |
| 森田 卓爾君 | 宮本 嘉樂君 | 西村 專太郎君 |
| 長 晴登君  | 廣瀨 久政君 | 横山 一平君  |

出席政府委員左ノ如シ

內務省衛生局長 窪田靜太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

屠場法案

○委員長川島龍藏君 ソレデハ唯今ヨリ委員會ヲ開キマス、就キマシテハ、私ヨリ本案提出ノ理由ヲ簡單ニ述ベマセウ、本案ハ前議會ノ末ニ當リマシテ、本員ヨリ提出致シマシタコロガ、會期切迫ノ理由ヲ以テ、委員會及本會トモ否決ニナリマシタ、サリナガラ當時政府ハ御同意ニナリマシタコトデアリマスカラ、本議會ニハ政府カラ進ンデ御提出ニナルコト、信ジテ居リマスシ、尙此當局者ノ方面カラモ聞イタコトモアリマスノデ、旁ミ控ヘテ居リマシタコロガ、今ヤ會期切迫ニナリマシテモ、政府ガ御提出ニナラヌト云フ譯デゴザイマスカラ、私が前年ノ議案ニ幾分ノ修正ヲ加ヘマシテ、提出致シタ次第デゴザイマス、サウシテ、本案ノ必要ハ御承知ノ如ク、近來肉食ノ需用ト云フモノガ、大分一般ニ長足ノ進歩デアリマシテ、是ヲ試ミニ二十七年及三十六年ノ二箇年ノ比較ヲ見マスルト、二十七年ニハ全國ニ屠場ノ數ガ九百三箇處デアリマシテ、其一箇年ニ牛、馬、羊、豚ノ屠殺サレマシタモノガ、二十一萬二千九百四十四頭トナツテ居リマス、サウシテ二十六年ハドウナツテ居ルカト申シマス、屠場ノ數ガ千四百三十六箇處デ、牛馬羊豚ノ屠殺セラレタモノガ、四十一萬九千六百五十五頭デアリマス、故ニ此十箇年間ノ増加數ヲ見マスルト、二十萬六千二百一十一頭トナツテ、殆ド倍數トナツテ居ルヤウナ次第デアリマス、實ニ著シイ進歩デアリマス、然ルニ政府ハ如何ナル法令ニ依ツテ屠場ノ取締ヲナシ、又公衆衛生、及肉食ノ需用者ニ満足ヲ與ヘルカト言ヘバ、政府ヨリ公布ニナツタモノハ、明治四年八月大藏省ノ達ヲ以テ斯樣ナモノガ出テ居リマス

屠場並牛肉賣取締方

一近來肉食相開候ニ付テハ屠牛渡世ノ者屠場ノ儀ハ人家懸隔ノ地ニ取設ケ病牛死牛トモ不賣鬻樣嚴重取締可申就テハ左ノ一條相守各地方官ニ於テ雛形ノ鑑札製造致シ屠場取開ノ場所巨細取調ノ上相渡シ當省ヘ追テ可届出事  
一牝牛ハ蕃息ノ基本ニ付總テ屠殺不致樣取締可致事  
但十二三歲以上孕牛ニ難相成分不苦候事

一諸開港場ニ於テ輸出ノ節取締ノ儀ハ其地方官ニ於テ見込相立取締可致事  
但見込ノ趣追テ可申出事

斯樣ナルモノガ出テ居ルヤウニ記憶シテ居リマス、サウシテ其他ニハ中央政府カラハ何等ノ事モアリマセヌ、故ニ追々此地方ニ於テ屠殺ノ數ガ澤山ニナリマスルカラ、此一片ノ達ニテハ到底取締ルコトガ出來ヌト云フ譯デアリマシテ、東京府ノ如キハ、警視廳各府縣デハ各府縣令ノ達ヲ以テ、此屠場ノ取締ヲ致シテ居リマスルガ、時勢ノ變遷ニ依ツテ、大ニ趣ヲ異ニシマシテ、依然此地方廳ニ於テ、是ハ適當ナ所デアルト云ツテ許シテ置イタ屠場モ、今ヤ時ノ變遷ニ依ツテ、立派ナ市街地トナツタ場所モ少ナクナイデアリマス、然レドモ法律ヲ以テ出テ居ルモノデアリマセヌカラシテ、俄ニサウ云フモノヲ取除クト云フヤウナコトモ出來マセヌ、一ツハ困ツテ居ルノト、又地方行政官ノ方針次第デ、此屠場ノ取締ヲサセルト云フヤウナコトデアリマスカラ區々ニナツテ居ル、其間ニモ亦弊害ノ少ナカラヌコトデアリマス、而シテ其一方ニ又屠殺營業ニ從事スルモノ、多クハ、所謂博勞ト云フヤウナモノデ、俗ニ活馬ノ目ヲ抜クト云フヤウナ、實ニ油斷ノナラヌ人種ト、又屠場ヲ所有シテ居ル者ハ、是等油斷ノナラヌモノ、又膏血ヲ絞ツテ營業スルト云フヤウナモノモアル、又賣肉商ト云フヤウナモノハ中ニハ、所謂羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ鬻ギ兼ネマジキヤウナ一種ノ人物ガ、ヤツデ居ルヤウナモノデアリマスカラ、此府縣令警視廳ト云フヤウナ、薄弱ナル取締ノ上ニ於テハ、ナカノ十分ナ取締ガ行居クモデアリマセヌ、ソレガタメニ此公衆衛生上ニモ亦病肉ノ供給ト云フヤウナモノヲ、一ツナガラ全キヲ期スルコトハ出來ヌノデゴザイマス、其譯ハドウカト云フト、府縣令ニ致セ、警視廳令ニ致セ、一朝違反ガアツタ時ニハ、其違反ト處分ヲ受ケルト云ツタコロガ體刑デ申シマスレバ、十日以内、又料料金デ申シマスレバ、一圓九十五錢以下ト云フヤウナ僅々タル違反料デアルカラ、實ニ以上ニ述ベマシタヤウナ營業者ニ對シテハ、象ノ臂ヲ蚊デモ整スヤウナ感シカシナイト云フヤウナ譯デアツデ、又之ガタメニハ、一面ニハ非常ニ弊害ガ伏在シテ居ルト云フヤウナ次第デアリマスカラ、一日モ早ク此屠場法ト云フモノヲ制定ヲ致シマシテ、是等公衆衛生上其他十分ナル取締ヲスルノ必要ガアルト信ジマスルカラ、茲ニ此屠場法案ヲ提出致シタヤウナ次第デアリマス、其他詳細ノコトニ至リマシテハ、御尋ネガアリマスレバ、御答ヲ致スコトニシタイト信ジマス

○森田卓爾君 今マデノ屠畜場ノ取締、竝ニ將來斯ウ云フ法律ヲ拵ヘナケレバナラヌヤウナ事情ニナツテ居ルガ、內務ノ政府委員カラ概略ヲ聞キタイモノデゴザイマス

○政府委員窪田靜太郎君 今日マデノ取締ノ方法ハ、矢張警視廳令府縣令デ以テ、各府縣共ニ發布ニナツテ居リマシテ、サウシテソレニ依ツテ取締ヲシテ居ル、然ルニ隨分此完全ナル屠場ガ澤山ニゴザイマシテ、數ニ於テハ寧ロ多フ過キルト思フ居ルノデアリマス、之ヲ統一スルコトコロノ法律ガ出來テ、サウシテ成ルベク必要數ニ止メルヤウニ、漸次ニ數ヲ少クシテ、設備ヲ完全ニシテ、其肉ノ検査ト云フモノモ周到ニシテ、惡ルイ肉ヲ販賣シナイヤウニスルト云フコトガ必要ト思ツテ居リマス、ソレト同時ニ、其設備方法ヲ完全

ニシテ往クニ付イテハ、大ナル市街地デハ、矢張市ガ屠場ヲ持ツテ經營シテ往クト云フトコロノ歐米ニ行ハレテ居ルモノガ、適當ト認メスルカラシテ、サウ云フコトガスラノト行ハレヤウナ途ヲ法律ヲ以テ付ケルト云フコトモ、亦必要ト思フテ居リマス、ソレデ委員長カラ御述ニナツタ如ク、本案ハ昨年矢張同一ノ方カラ御提出ニナツテ、其時ハ今度御提出ニナツタノトハ大分違フテ居リマスガ、ソレニ對シテ政府ガ大體ニ於テ同意ヲ表シテ、之ニ對シテ修正意見ヲ各條ニ政府ハ出シマシタ、昨年成立ニナラナカッタノデアリマス、ソレデ本案ヲ見マスト、昨年政府ガ出シタ修正意見ニ對シテハ、先ツ少部分ノ修正ヲ加ヘラレテ、御提出ニナツテ居ルヤウニ見受ケマスガ、政府モ爾來調フ致シテ、本年ハ政府トシテ出シタイト云フ積デアリマシテ、既ニ其調査モ餘程進シテ居ルノデアリマス、段々會期モ切迫シテ參リマシテ、調査ノ方ハ略々結了致シマシタガ、此方ヘ提出スルト云フマデニハ往カズ、政府ハ提出ヲ延バシタ次第デアリマス、ソレデ大體ニ於テ御提出ニナツタモノト、政府ノ意見ト差シタル違ヒハナイ、ソレデ昨年來研究致シタ結果、條文ニ於テハ多少各條ニ付イテ、修正ノ意見ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○森田卓爾君 此法案ハ衛生ト獸畜ノ追々増加スルトカ減ルトカ、進歩ニ大變ノ關係ヲ有ツテ居ルコトデゴザイマスガ、先日委員長ノ御話ニハ、歐羅巴ノコトモ調ベタト云フコトデスガ、歐米ハドウ云フ風ノ取締ニナツテ居リマスカ

○委員長川島瀧藏君 是ハ其國々デ、餘程趣ガ變ツテ居ルガ、昨年來調査シタコロニ依ルト、獨逸ノ如キハ、概ネ公設屠場主義デ、大市街ニハ必ズ公設屠場ガアツテ、一般ノ屠殺ヲ致シマス、ソレカラ亞米利加トカ、佛蘭西ノ如キハ、サウデナイヤウデアリマスガ、是トテ肉肉食國ノコトデ、十分ナ設備モアリ、又取締モ付イテ居ル譯デ、國々ノ狀況ニ依ツテ異ナツテ居テモ、今日ノ日本ノ如ク、一地方ノ警察ニ委ネテ置クトコロハ、先ツナイヤウニ存ジマス

○山口小一君 本案ハ公設ニスルト云フ御趣意デスカ

○委員長川島瀧藏君 提出者ノ意見トシテハ、東京トカ大阪トカ、一年ニ數万頭屠殺サレヤウナ所ハ、追々公設ニシタ方ガ一般ノ利益デアラウト考ヘマシテ、サウ云フ法文ニナツテ居リマスガ、併ナガラ一年ニ千頭内外ノコロデハ、公設ト云フコトハ、收支相償ハヌコトデアラウト思フカラ先ツ重モナル市街地ニ向ツテ、公設ヲ獎勵スルト云フコトガ、國情ニ於テ適當デアラウト考ヘテ居リマス、御參考ノタメニ、重モナル地方ノ一年ノ屠殺數ヲ申上ゲレバ、三十六年度ニ屠殺シタモノハ、東京、牛二万七千八百六十、馬八千八百八十四、豚一万四千六百三十八、大阪、牛二万七千四百五十一、馬四千八百七十一、豚千七百七十三、兵庫、牛一万八千三百六十、馬八百八十、羊八百八十八、豚三千八百二十六、長崎、牛一万四千四百七十、馬七百八十三、羊千二百六、豚三千五百三十七、北海道、牛二千四百三十七、馬九百一、羊二十、豚六千九百九、廣島、牛一万六千二百三十五、馬四百四十七、豚二百四

○石川清君 肺結核ニ罹ッタ牛馬ヲ食用スレバ、害ガアルト云フノデ、陸軍省ナドハ、兵隊ノ食用ニシナイト云フコトデアルガ、市中デハソレヲ買受ケテ賣捌イテ居ル、監視廳邊デハ人體ニハ害ガナイト云フコトデ、許シテ居ルト云フヤウニ聞キマスガ、ドウ云フモノデス

○政府委員窪田靜太郎君 輕症ノ結核デ、或結核ノ部分ヲ除ケバ、肉ニハ一向影響

響シテ居ラヌト云フノハ、屠畜ノ場合ニ検査ヲシテ、判ラ捺シテ賣ラセル、ソレハ差支ナイモノデサウデス

○山口小一君 私ノ縣ノ如キハ、四五年前ニ嚴重ニ警察ノ方カラ達シテ、一箇所ニ付イテ千五百圓、或ハ二千圓ノ資金ヲ入レテ、建設シテ居ル、殊ニ圖面等モ警察ノ方カラ渡サレテ、ソレニ依ツテ建設シタノデアルガ、ソレハ府縣ニ任セテアルカラ、府縣ノ適宜ニシタモノト考ヘラレルガ、此法案ガ決シタ以上ハ、一般ニ內務省ノ方ヨリ建設ノ仕様マデモ示サレルカ、ドンナモノデス

○政府委員窪田靜太郎君 大體ハ內務省デ定メル積デアリマス、併ナガラ仕様書ノ極細カイコトマデ、總テ規定シテヤル程ノ必要ハナカラウト思フ唯程度ヲ示スマデト思ヒマス

○山口小一君 細カイコトハ地方廳ヘ御任カセニナリマスカ

○政府委員窪田靜太郎君 サウデス

○長晴登君 此ハ此三條ノ但書ニ付イテ、御尋ネシタイ、但書ノ人ノタメニ賣ルカ、若クハ人ニ與レルト云フ意味ヲ以テデタク、自家用ニスルモノハ検査ヲ受ケタデモ宜イト云フ意味ニナツテ居ルガ、是ハ必ズ提出者ノ御趣旨ハ自用スルモノナラ、自カラ其獸畜ノ病氣ガアルカナイカト云フコトハ、自分デ知ツテ居ルカラ、取締ラヌデモ宜イト云フ御趣旨ニナツテ居ララウカ、又一方カラ考ヘテ見レバ、今ノ日本ノ知識ノ程度ガ、果シテ自分ノ獸畜ニ對シテ、検査シテ、判別ガ付クト云フ程度ニ達シテ居レバ、是デモ宜シイ譯デアアルガ、隨分危險ト思フガ、其點ニ付イテ御考ハドウナツテ居リマスガ、又此検査員ト云フモノヲ置クトニナツテ居リマスガ、此検査員ハイザレ勅令カ命令ヲ以テ、細則ハ御定メニナルコトノ御積ニナリマセウカ、検査員ノ費用ノ如キモノハ、何處ニ出サセル積デアリマスガ、又検査員ノ如キモノハ、隨分澤山ノモノニナリマセウト思ヒマス、地方々々ニナルカラシテ、此検査員ノ技術ノ程度等ノ如キモノニ付イテハ、ドレダケノ人間ヲ御用井ニナル御積カ、其邊ヲ御聽キシタイ、尙第七條ニ依ツテ見ルト、補償ノ義務アルモノト云フコトガアル、此補償ノ義務ト云フモノハ、絕對ニソレダケノ損害ヲ補償スルト云フコトニ、是ナラバ見エヌ、手當ト云フ位ノ性質デ定メル御積デアリマスガ、隨分斯ウ云フモノハ、土地收用法ノ如ク、地所マデ云フノハ其個人ノ私權ヲ尊重スル原則ノ下ニ造ルモノアリ、或ル度ニ於テ、手當ノ性質ヲ以テ命令デ極メテシマウト云フモノモ大分アリマス、傳染病豫防法ノ如クシヤウト云フノカ、ソレ等ノコトハ、ドンナ御考カ、第九條ニ付イテ衛生上ノ危害ヲ生ジ、其他公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ、屠場ノ營業ヲ禁止スルト云フコトガ出來ルト云フコトガアリマスガ、此中ニハ、全然屠場主ノ處置カラ出テ來ル衛生上ノ危害、若クハ公益ヲ害スルト云フ程ノモノナラバ、禁止スルトト何デモナイ話、ケレドモ先刻委員長ノ御話ノ通り、世ノ中ガ開ケルニ從ツテ、前ニ全然宜イト思フ場所ガ、其都會地方ノ發達ノ結果トシテ、其爲メニ衛生上ノ危害ニナルヤウニナツタ、公益ヲ害スルトニナツタト云フ世ノ中ノ遷リ變リニ依ツテ、斯ウ云フ場合ガ出テ來ル、其場合ニハ第七條ノ如ク補償ヲ與ヘヌト云フコトハ、權衡ガ取レヌコトニナル、是等ニ付イテハ、ドウ云フ御考ニナツテ居ルカ其點ヲ伺ヒタイ

○委員長川島瀧藏君 御答致シマス、第三條ノ但書ヲ加ヘマシタノハ、是ハ牛馬羊

豚ニ適用ハ致シマスケレドモ、重ニ先ヅ養豚ガ此條項ガゴザイマセヌト云フト、屠殺致シマスニ差支ヘルカラ、置イタモノデアリマス、御承知ノ通、近來養豚事業ハ各地方ニ盛ニ行ハレマスガ、此豚ハ一家ノ食用ト致シマスニ、少シ鶏ノ大キナヲ殺シタト云フ位ノモノデ、隨分一家ニ於テ食ヒ盡スコトガ出來ヌト云フモノデアリマセヌカラ、サウ云フ場合ニ、一々検査員ノ検査ヲ經ナケレバナラヌト云フヤウナ譯デアッデハ、畜産ノ蕃殖上ニ最モ妨害ヲ與ヘルト考ヘマスカラ、斯ウ云フ箇條ヲ置イタノデゴザイマス、御説ノ如ク幾分ノ危害ガナイトハ限リマセヌガ、併シ此案ヲ置キマセヌデ、ドレデモ是デモ検査ヲ經ナケレバ屠殺スルコトガ出來ヌト云フ譯ニナリマス、甚ダ害ガアリマスカラ、ソレ故ニ重キヲ取ッテ斯様ナ但書ヲ置イタヤウナ次第デアリマス、ソレカラ第二ノ御問ノ検査員ノコトデス、検査員ハ御承知ノ通、近來地方廳ニ「ツベルクリン」ノ注射等ノタメニ、大イニ獸醫ヲ、各警察トマデハ參リマセヌガ、府縣ニ於テ餘程澤山使ハレルヤウニナリマシタカラ、サウ云フ程度ノモノニ検査ヲサセマシタル積デ、サウ致シマスレバ、左様ニ仰山ノ費用ヲ、地方廳ガ持タヌデモ出來ルヤウニナラウト存ジマス

○長晴登君 サウスルト此經費ハ地方廳ニ持タセル積リデスカ

○委員長川島瀧藏君 サウスルト、其次ハ七條ノ私設屠場ノ所有者ニ對シ、命令ノ定ムルトコロニ依リ、補償ノ義務ガアルト云フ 御尋ネシタガ、内務省ニ於テモ、屠場ニハソレノ敷地ガナンボアッデ、建設費ガドノ位掛タト云フコトハ、御取調ガアルヤウデアリマス、ソレニ依ッテ時價相當ノ補償ヲスルト云フヤウナ考デ……

○長晴登君 チョット其條項デカラ、此場合御聽キシテ置キタイ、此時價ト云フモノハ、屠場ノ價値ト云フモノハ、其土地ガ發達シテ、段々屠殺ノ數ガ多クナレバ、其土地ノ價格ガ上進スル、サウスルト其屠場ノ收益價値カラ割出スモノヲ以テヤルト云フ御考デスカ

○委員長川島瀧藏君 ソレハ現在ノ價カラ打算スルヨリ仕方ガゴザイマセヌ

○長晴登君 サウスルト全然補償ノ義務デスカ

○委員長川島瀧藏君 サウスルト、其次ニ衛生上危害ヲ生シ其他公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ行政官廳ハ屠場營業ノ禁止又ハ停止ヲ命スルコトヲ得「ト云フ、是ハ御問ノ時ニ御話ノアツタ如ク、傳染病等ノ場合ニ、斯ウ云フコトハ多クアリマスノデ、ソノ時分ニハ一時的ノコトガナイ、是ガタメニソコヲ買収スルト云フヤウナコトハ、先ヅ少ナイコト御承知ヲ願ヒタイ

○長晴登君 チョット御伺ヒシタイ、今ノ傳染病ノ方ナラ、傳染病豫防法ニ於テ種々コトガ出來テ居リマスカラ、アチヲノ方デ取締ガ付カヌト云フ御見込ナシデスカ

○委員長川島瀧藏君 ソレハ屠場ニ對スル統一シタモノガ出來マセヌ、詰リ三十四年ノ四月、法律三十五號デ、畜牛結核豫防法ニ同ジク、二十九年三月法律案第六十號デ、同ジク之ニ聯關シタモノデアリマスケレドモ、特ニ此條項ハ置イタ方が、必要デラウト信ジマス、ソレト申シマスモノハ、傳染病モ最モ重キヲ置イタデスカ、此屠場ヲ持ッテ居ルモノガ、設備ノ不完全デ、衛生上ノ危害ヲ生ズルヤウナコトヲシナイモノデモアリマセヌ、サウ云フトキニハ禁止ナリ停止ナリモシナケレバナラヌ、ト云フヤウナコトモアリマセウ

○長晴登君 尙御聽キシマスガ、之ガ停止ト云フコトナラ了解シマスガ、禁止ト云フコ

トハ、永久ノ意味シテ居ルトコロデ、今從來許スト云フコトハ——此法律ニ依ッテ許シテ居ルト云フコトハ既ニ或ル程度マデ差支ナイト云フコトヲ認メテ許シタノデアリマスカラ、其以後ニ設備ヲ命ズルト云フコトハ、必要ニ依ッテ一々設備ノ改良ヲセヨト云フ命令ニスル必要ガアルナレバ、此法律ナリ行政命令ニ依ッテ極メテモ宜シイデセウガ、禁止ト云フコトハ、全然業ヲ奪フト云フコトニナリマスカラシテ……

○委員長川島瀧藏君 斯ウ云フ意味ニ御了解ヲ願ヒタイ、政府ノ命令ヲ奉ゼヌ、ツレガタメニ意外ノ不都合ガアルト云フヤウナ場合ニ禁止モ必要デラウ

○森田卓爾君 此第一ニ本法ニ牛馬羊豚ト限ッデアリマスガ、之ニ依ッテ法律ヲ拵ヘルニ序ニ入レルモノガナイカ、ドウカ、事情ヲ御尋シマス、第二ニ二十二條ニアリマス、許可ヲ得テ設立スルト云フ、此行政官廳ト云フノハ地方廳デスカ、内務大臣ト云フノデスカ

○委員長川島瀧藏君 地方行政官廳ノ積デ、牛馬羊豚ト四種ニ限ッタノハ、之ガ本邦ノ重ナル食料品デスカ……

○山口小一君 政府委員ニチョット御尋ネシタイノデスカ、此本案ニ付イテハ、大體ハ政府ニ御贊成ノヨウニ、今御話ガゴザイマシタノデ、此中私ノ考デハ、第六條ト第七條ハ削除スル方が宜カラウト考ヘマスガ、ソレハ削除スレバ御同意ガ出來ナイト云フヤウナ理由ガアルモノデアリマスカ

○政府委員窪田靜太郎君 六條七條ノ規定ハ、矢張必要デアラウト思ッデ昨年モ既ニ其修正意見ヲ、斯ウ云フ意味ノモノヲ出シタノデ、先刻申シマシタ政府ガ屠場法ヲ必要ト認メル理由ノ一ツハ、詰リ大キナル市街地デハ、之ヲ市ノ經營ニサセタイト、而シテ設備モ完全ニ出來シ、又市ノ財源ニモナルト云フヤウナモノデ、最モ其適當ナモノデゴザイマスカラシテ、其事ノ出來ルヤウナ途ヲ一ツ開イテ置キタイト云フ趣意カラ、六條七條ノ如キハ矢張必要デアラウト思ッデ居ルデス

○山口小一君 尙御尋シマス、ソレハ即チ第八條デ、内務大臣ハ必要ト認ムルトキハ、臨時ニ屠場ノ設置ヲ市町村ニ命ズルコトヲ得ル、ト斯ウ云フデケデハ往カレヌト云フノデスカ

○政府委員窪田靜太郎君 往カレナイコトハゴザイマセヌガ、市町村デ設クル場合ニ、之ガ屠畜數ト云フモノハ——一日ニ殺ス頭數ト云フモノハ、東京ノ如キ大都市デアッデモ知レタモノデアッデ、之ヲ競争ノニ方々引張合ッテ、屠殺スル手數料ヲ定ムルト云フコトニナルト云フト、何レモ共ニ成行キ難イ、隨ッテ設備ガ十分ノコトガ出來ヌト云フ結果ニナル、ソコデ市ガ設クルト云フコトニナレバ、抛ッテ置イテモ、私立ノ私ノ屠場ト云フモノハ、非常ニ迷惑ヲ被ルダラウト思フ、自滅ヲサセラルヤウナコトニナルダラウト思フ、私設ノ屠場主モ困ラアラウ、又市ノ方カラ往ッデモ、ドノ位ナ屠殺數ガアッデ、ドノ位ノ收入ガ得ラレルモノデアラカト云フ計算モ立惡イト云フヤウナ關係カシテ、市デ設ケテ往クコトハ、餘程ムヅカシイダラウト思フ、却テサウ云フ場合ニハ、一方デヤ私設ノモノニハ廢止ヲ命ズル、サウシテ相當ノ補償ヲスルト云フ方が、雙方ノ便利ダラウト思フ、ソレデアッデ方が宜カラウト思ッデ居リマス、尙此取締ノ施行ニ付テノ御尋ガ、先刻委員長三出デ居リマシテ、ソレニ對シテ、委員長ノ御答モゴザイマシタガ、政府ガ考ヘテ居ルトコロデハ、此屠殺ニ付

イテハ、矢張其一つニ付イテ検査ヲ致シテ、然ル上ニ屠殺サセル、其検査ト云フモノハ、詰リ行政廳ノ吏員ガヤルト云フモノデアリマスカラシテ、ソレニ對シテノ手数料ヲ取ツテ然ルベシト思フ居ル、其手数料ヲ財源トシテ、サウシテ其吏員ヲ置イテ、取締リヲスルト云フコトハ、府縣ノ收入トシテ、府縣ノ支出ニサセテラバ宜カラウト思フ居リマスガ、尙其邊ハ國庫デドノ位ノ關係ヲ持ツカト云フヤウナコトハ、イザレ實施ニ臨ンデハ、又調査ノ上極メ積デアル

○柳田藤吉君 此第五條ノ一項、二項、三項是ニ當ル其牛ナンドト云フモノハ棄アルト云フ見込デゴザイマセウカ、検査シナイト云フノハ……

○委員長川島龍藏君 御答致シマス、是ハ牧畜ニハ非常ナ關係ノアルモノデアリマシテ、御承知ノ通夏ナド生草ヲ一時ニ餘計食ベマスルト云フト、鼓脹病等ヲ起シテ俄カニ窒息スルト云ヤウト譯デアッデ、其場合ニハ早クモウ仕方がナイモノト見マスレバ殺シテシマッデ、シマスルト云フト肉モ宜シイデスガ、ソレヲ検査シナクテハドウニモ出來ヌト云フヤウナ譯デアリマス云フト、詰リ魚デゴザリマスレバ、腐敗シテシマッデ後ニ、始末スルト云フヤウナ譯ニナリマスカラ、サウ云フノハ早ク殺シタノハ食用ニスルコトガ出來ルヤウニ、此一項ヲ置イタノデ、難産ノタメニ矢張危篤ニ陥ルモノ、是ハ多ク牛乳屋ニアル、是モ早ク處分シテシマウ、ソレカラ傷ヲ受ケタモノ、谷ヘ落チタトカ、足ヲ折ツタトカ云フ場合ニハ、早ク處分シテシマウ、サウ云フ場合ニハ検査ヲスル邊ガナイ、之ヲ置キマセヌト餘程困ル

○柳田藤吉君 是ハ一體茲デ検査ヲ受ケナイ前ニ、此死シテカラ直グニ此今ノ御話ノ通、草ヲ餘計食ッデ、腹ガ張ッデ死ヌト云フヤウナ、助カルコトモ死ヌコトモアル、此後ニ検査ヲ受ケル、斯ウ云フ譯デ殺シタト云ッデ、検査ヲ受ケルト云フコトヲ願ウト云フノデスナ、検査ヲ受ケナイトバカリアリマスカラ、是ハ……棄テルモノト見ラレルノデ

○宮本嘉樂君 私人考デハ唯今ノ第三條ノ検査員ニシタトコロガ……唯今ノ各警察署ノ検査ニ任セテモ差支ナカラウト思フ、唯今委員長ノ御話モアルケレドモ、サウデナイ、各警察署毎ニ検査員ヲシテ、其検査員ガヤルカラ敢テ差支ナイカラ、此法文通デ差支ナイト思ヒマス

○委員長川島龍藏君 チョット速記ヲ止メテ、協議會ト致シマス  
(是ヨリ協議會ニ移ル)

○委員長川島龍藏君 ソレデハ協議會ハシマヒマシテ、是カラ本會ニ移リマス

○長晴登君 私人茲デ動議ヲ提出致シマス、此案ノ趣旨ハ全體ニ於テ賛成ヲ表スルモノデアリマス、併ナガラ法文其他、此趣旨ヲ適用スル上ニ於テ、是ハ修正シタイト云フ考デゴザイマスガ、茲デ修正ノ意見ヲ提出スルヨリハ、先ヅ以テ二三名若クハ五名ノ調査委員ヲ置イテ、サウシテ此趣旨ヲ完ウスルヤウニシテ、即チ關點ノナイモノニスルトカ、ドウ云フ方法ガ宜イカト云フコトヲ、調査サセタイ、即チ第一着ニ此法案ノ大體ニ於テ、賛成ヲスルガ、此法案ノ意味ヲ完全ニ規定スル上ニ於テ、調査委員ヲ設ケタイト云フ考デゴザイマス

○宮本嘉樂君 私人長君ニ賛成デゴザイマス

○森田卓爾君 私人本案ノ大體ニハ賛成デアリマスガ、法文ニ體裁ヲ爲サヌトコロガアリマスカラ、矢張意味ヲ拵ヘテ整理スルコトニスルコトニハ賛成致シマスガ、先ツ骨ヲ

決シテモライタイト思フ、サウデナイ整理委員ガ困ラウト思フカラ、骨ヲ二三箇條拵ヘテ置イテ貰ヒタイ

○長晴登君 詰リ骨ヲ極メルト云フモ、調査委員ノ報告ヲ待ツデシタラドウデスカ

○森田卓爾君 後トデ報告ヲスルナラバ、此儘委員ニ付託シテモ差支ナイ

○委員長川島龍藏君 ソレデハ長君ノ審査委員ヲ拵ヘテ、其後ニ逐條審議ニ移ラウト云フ發議デス、之ニ御同意デスカ  
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長川島龍藏君 御異議ナイモノト認メマス

○平島松尾君 私人委員長理事ノ外、三人委員ヲ置イテ五人デ宜カラウト思フ、ソレハ委員長ノ指名デ宜シイ

○委員長川島龍藏君 ソレデハソレデ宜シウゴザイマスカ  
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長川島龍藏君 ソレデハ森田君、長君、辻君ニ願ヒマセウ

○平島松尾君 ドウデス、是カラ直グニ引續イテヤルノデスカ、ソレトモ……  
(「明日ハ休ミデスカ、明後日ニシテハドウデスカ」ト呼フ者アリ)

○委員長川島龍藏君 是ハ明後日ノ本會ニ出シタイト思フノデスカ、御苦勞デモ直チニ御開キニナッテ御審議ヲ願ヒマス、ソレデハ一先ツ休憩致シマス  
午前十一時二十一分休憩

午後零時三十分開議

○委員長川島龍藏君 ソレデハ先刻ニ引續キマシテ、會議ヲ開キマス、先刻委員ニ付託ニナリマシタニ依ッテ、委員ノ修正ガ茲ニ出來シタカラ御報道致シマス、委員ハ提案ニ依リマシテ、又政府委員ノ御考モ種々承リマシテ、此青摺ノ如ク修正ヲ致シマシタ、其重モナル條項ニ付イテ説明ヲ致シマスガ、第三條ニ於テ、此但書ニ「自家用其他特別ノ事情アル場合ハ命令ノ定ムル所ニ依ル」ト入レマシタガ、是ハ舊三條ノ但書ニアリマシタ「所有者ハ販賣又ハ自由ノ方法ニ依テ他人ノ食用ニ供スルモノニアラス 自家用ノタメニ屠殺スルモノ」若クハ舊五條ニアッダ如ク蓄牛ハ舊三條ノ關係カラ急迫ニ陥リタルモノ、若クハ難産ノタメニ危急ニ陥リタルモノ、重傷ヲ受ケテ危急ニ陥リタルモノ、處分上検査ヲ經ズトモ——始ノ検査ヲ經ズトモ食用ニ供スルモノハ出來ルト云フ、總テ命令ノ定ムルコトニサセル、斯ヤウナ意味ヲ以テ茲ニハ「命令ノ定ムル所ニ依ル」ト云フコトヲ置キマシタノデゴザイマス、ソレカラ「第十一條 衛生上危害ヲ生シ其他公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ地方官屠場ノ廢止ヲ命ジ」トシテ是ガ制裁ヲ加ヘル精神ヲ以テ之ヲ置イタノデ、普通ノ營業人ニ對シテヤルト云フ精神デナイト云フコトヲ、或ノナイヤウニ明カニシテ置キタイト云フ、委員一般ノ說デアリマシタ、ソレカラ特ニ此修正全文ヲ速記ニ殘シテ、他日迷ヲ生ゼヌヤウニ致シタイト云フ考デ、委員ハ此青摺ノ如ク、滿場一致ヲ以テ決シマシタ此段各員ニ御報道致シマス

○長晴登君 私人此場合修正動議ヲ提出致シマス、ソレハ唯今委員長ノ報告ノヤウニ、本案ヲ修正シタイ積デス、理由ハ委員長ガ御述ベニナッタトコロデ明カデスカ、同一

ノ理由ヲ以テ、此修正ノ理由ト致シマス

(「異議ナシ」又ハ「賛成」ト呼フ者アリ)

○委員長川島瀧藏君 ソレデハ唯今ノ修正動議ニ諸君ノ御同意ガアルカラ、之ニ決定シマス、外ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長川島瀧藏君 是ニ決定シマス、是レデ散會ヲ致シマス皆サン御苦勞サマ……

午後零時三十六分散會

(參照)

### 屠場法案修正案

第一條 本法ニ於テ屠場ト稱スルハ食用ニ供スル目的ヲ以テ獸畜ヲ屠殺スル場屋ヲ謂フ

本法ニ於テ獸畜ト稱スルハ牛、羊、豚及馬ヲ謂フ

第二條 屠場ヲ設立セントスル者ハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 屠場以外ニ於テハ食用ニ供スル目的ヲ以テ獸畜ヲ屠殺解體スルコトヲ得ス但シ自家用其他特別ノ事情アル場合ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第四條 屠場ニ於テハ屠畜検査員ノ検査ヲ經サル獸畜ヲ屠殺解體スルコトヲ得ス屠肉、内臟其他食用ニ供スル部分ハ屠畜検査員ノ検査ヲ經サルニ非サレハ屠場外ニ搬出シ又ハ製造ノ用ニ供シ若ハ貯藏スルコトヲ得ス

第五條 屠場ニハ屠畜検査ノ爲必要ナル設備ヲナスヘシ

第六條 市町村ニ於テ屠場ヲ設立スルトキハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ハ必要ト認ムル地區内ニ於ケル私設屠場ノ廢止ヲ命スルコトヲ得

第七條 屠場ヲ設立スル市町村ハ屠場ヲ命セラレタル私設屠場主ニ對シ屠場ノ使用廢止ノ爲受クヘキ損失ヲ補償スヘシ

前項ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ地方長官之ヲ決定ス其決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第八條 内務大臣ハ必要ト認ムルトキハ屠場ノ設置ヲ市町村ニ命スルコトヲ得

第九條 市町村ハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ノ認可ヲ得ルニ非サレハ屠場ヲ廢止スルコトヲ得ス

第十條 市町村立屠場ノ用地ニ必要ナル國有ノ土地ハ之ヲ市町村ニ讓與シ又ハ無償ニテ使用セシムルコトヲ得

第十一條 衛生上危害ヲ生シ其他公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ハ屠場ノ廢止ヲ命シ又ハ其使用ヲ停止スルコトヲ得

第十二條 地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ハ必要ト認ムルトキハ屠場設備ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十三條 第三條第四條ニ違背シタル者又ハ第十一條ノ停止ヲ犯シタル者ハ三

百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 屠畜ニ關スル營業者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此限ニ在ラス

第十五條 屠畜ニ關スル營業者ハ其代理人戸主家族同居者雇人其他ノ從業者ニシテ其業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カル、コトヲ得ス

第十六條 法人ノ代表者又ハ其雇人其他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ違反シタル場合ニ於テハ各法規ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス

法人ヲ罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

### 附則

第十七條 本法施行ノ際現ニ存スル屠場ハ本法施行後三箇年間ハ本法ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但シ本法施行ノ日より起算シ許可期間三箇年以内ナルトキハ其期間ニ依ル

前項期間終了後ハ本法ニ依リ許可ヲ受クヘシ

第十八條 本法中市町村ニ關スル規定ハ北海道ノ區一級町村二級町村及沖繩縣ノ區其他市町村ニ準スヘキ地ニ適用ス

第十九條 本法施行ノ期日ハ明治三十九年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年三月二十日印刷

明治三十九年三月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局